

# みはる山

人吉市立田野小学校便り No.10

平成20年2月20日 文責 満島

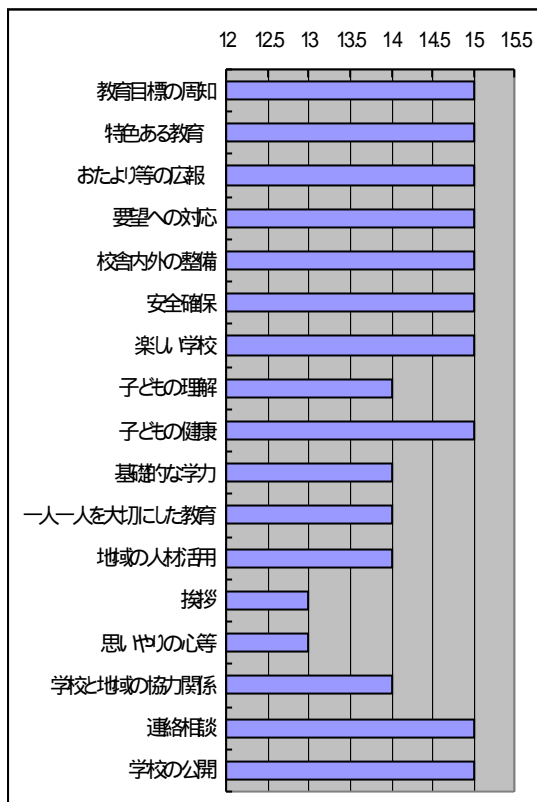
## 学校評価、ご協力ありがとうございました。

保護者による学校評価をお願いしましたところ、全ての保護者から提出していただきました。下のグラフのような結果(16点満点)になりました。学校内部では気づかないことや今後取り組まなければならないことが明確になりました。評価結果を真摯に受けとめ、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。

概ね高い評価をいただきましたが、次の2項目については厳しい評価になりました。

### 挨拶の励行

### 思いやりなどの豊かな心の育成



1点目の挨拶についてですが、以前に比べ、地域の方々への挨拶が十分にできていないという話を聞いたことがあります。学校だけ又は家庭だけで挨拶ができて、様々な場面で、その場に合った挨拶ができなければ、本当に挨拶ができません。生活の基となる挨拶を重点課題として今後取り組んでいきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

次に、2点目の課題、思いやりなどの豊かな心の育成についてです。学校の様子から判断すると、いじめ等の重大な問題は起きていません。しかし、少人数だからこそ難しい面もあります。いわゆる人間関係の固定化です。その結果として、ややもすると相手のことを考えずに行動したり、言ったりすることがあります。「親しき中にも礼儀

あり」という言葉があります。はじめをつけるところは、きちん

とつけることが必要です。また、豊かな心の育成には、体験活動が大切ですが、小規模校では、学校生活そのものが、体験活動であるといえます。具体的な場面を捉えて、心の教育を継続的に取り組んでいきたいと思ひます。

今回は、全体的な評価結果しか公表しませんが、個別のご意見等は、別個に対応していきたいと思ひます。

### 3月の主な行事予定

- ・7日(金) オープンスクール
- ・21日(金) 卒業式
- ・24日(月) 修了式
- ・28日(金) 退任式

### 校長室から

### 「苦い思い出」

2月3日(日)に、人吉球磨バトミントン大会が行われました。田野小学校からは2年生以上の5人が参加しました。1回戦で負けた人、ベスト4までいった人と結果は様々でした。また、あと1点取れば、流れが変わるところでミスをして悔しい思いをしたり、実力を発揮できずに涙を流した人もいました。スポーツを通して、様々な体験をすることができました。

私のスポーツでの苦い思い出は、中学生の時、大事な野球の試合で、タイムリーエラーをして、負けの原因を作ったことです。それから数年間は、スポーツをすることが嫌になるほどのショックでした。

子どもたちは、スポーツに限らず様々な場面で、失敗や挫折を経験します。失敗や挫折は貴重な体験ですが、体験しただけでは、子どもの成長につながらないのではないかと思うことがあります。そこに、大人の言葉かけがあってこそ、失敗や挫折が生きてくるのであって、それがなければ、自己否定や挫折感だけが残ることも十分考えられます。

例えば、子どもが受験に失敗した時、周りの大人の言葉かけによって、失敗を今後の人生に生かすこともできますが、言葉かけの内容によっては、逆に、その子をダメにすることもあります。

かく言う私も、2番目の娘が受験に失敗した時、ついつい娘のマイナス面を言ってしまう、追い込んでしまったことがあります。その時、祖母が娘に対し、「受験が全てではなか、今からが大切」等の言葉かけをしてくれました。

子どもの教育の方法は様々で、いろいろあって良いと思ひます。黙って、親の背中を見せることも大切ですが、様々な場面で、言葉かけをすることが、もっと大切なような気がします。